



2023年2月3日

各 位

上場会社名 株式会社 紀陽銀行
 代表者 取締役頭取 原口 裕之
 (コード番号 8370 東証プライム)
 問合せ先責任者 取締役常務執行役員
 経営企画本部長 横山 達慶
 (TEL 073-426-7133)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日に公表した2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

業績予想の修正について

2023年3月期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	経常収益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	80,300	21,700	14,300	215.74
今回修正予想(B)	82,100	3,900	3,000	45.74
増減額(B - A)	1,800	17,800	11,300	
増減率(%)	2.2	82.0	79.0	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	81,596	24,281	15,460	230.40

2023年3月期個別業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	経常収益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	70,200	20,300	13,400	202.16
今回修正予想(B)	72,000	2,400	2,000	30.50
増減額(B - A)	1,800	17,900	11,400	
増減率(%)	2.6	88.2	85.1	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	72,015	22,344	14,214	211.83

(ご参考)

2023年3月期配当予想について

基準日	1株当たり配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
配当予想(2023年3月期)				20円	40円
当期実績		20円			
前期実績(2022年3月期)		0円		40円	40円

通期業績予想を修正いたしましたが、1株当たりの配当予想（期末配当1株あたり20円、年間配当1株あたり40円）につきましては、変更ございません。

修正の理由

金融政策の正常化などを背景とした昨今の世界的な金利上昇を受け、外国債券を中心に発生した評価損については、ヘッジ取引等によりリスクコントロールを行っております。

しかし、外国債券に関して、保有にかかる外貨調達コストが有価証券利息を上回る状態が今暫く継続する可能性を見据えて、外国債券利息の逆鞘利息負担を抑制するために、損失処理を行うことといたしました。これに伴い、2023年3月期の連結及び個別の業績予想を下方修正いたします。

現在の第6次中期経営計画においては、貸出金利息や役務収益など本業収益の拡大により安定的な収益構造への転換を進めてきております。今年度、低利回りの外国債券の多くを損失処理することにより、来年度迎える現中期経営計画の最終年度目標の達成ならびに次期中期経営計画においても着実な成長を見据えることが可能となる見込みです。

なお、2023年3月期の連結自己資本比率は10%程度を見込んでおります。

<ご参考> 第6次中期経営計画 最終年度目標数値（2024年3月期）

顧客向けサービス業務利益<単体>	100億円以上
本業OHR<単体>	75%以下
親会社株主に帰属する当期純利益<連結>	125億円以上
ROE<連結>	5%以上

本資料の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上